

月島三丁目北地区市街地再開発組合
 住友不動産株式会社
 東京建物株式会社
 大和ハウス工業株式会社
 一般財団法人首都圏不燃建築公社

勝どき・月島エリアで最高高さ約199mを誇る 総戸数約1,300戸のタワーマンションを中核とした再開発事業 「月島三丁目北地区第一種市街地再開発事業」組合設立

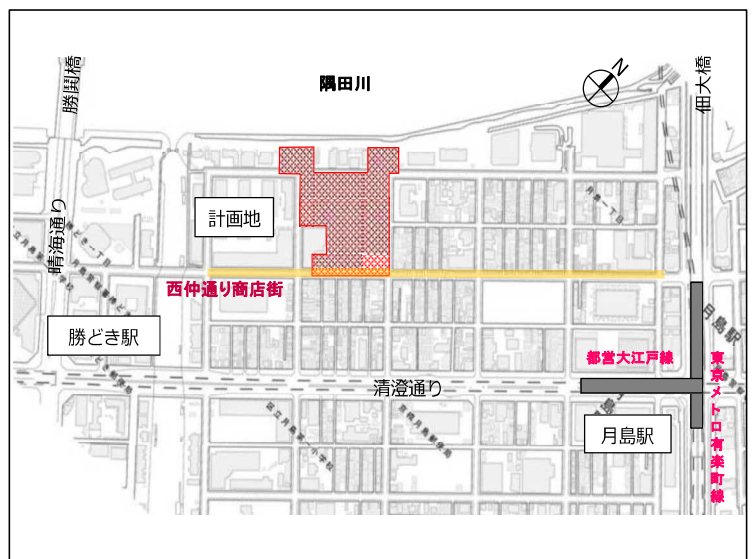
月島三丁目北地区市街地再開発組合（理事長：金子哲明）は、東京都中央区月島三丁目他で事業を推進する「月島三丁目北地区第一種市街地再開発事業」におきまして、2020年8月7日に東京都知事より市街地再開発組合の設立認可を受け、同年9月5日に再開発組合を設立致しましたのでお知らせいたします。

当該地区は、「月島もんじゃストリート」として知名度高く、多くの人々が訪れ賑わう“西仲通り商店街”に面した約1.5haもの施行区域に位置しています。地区内は、築年数の経過した木造家屋が多く立ち並ぶなか、建物の更新が進まないなど防災上の課題を抱えていました。また、隅田川に面した立地環境を活かし水辺と調和した空間や人々が集い・交流できる公共施設、災害時にも活用できる広場など都市機能の更新が求められておりましたが、個別建て替えでは対応が困難な状況にありました。

本事業では、これらを踏まえ土地の合理的かつ健全な高度利用を図り新たなランドマークともなるタワーマンションを中核とし、地域の更なる活性化、防災性の向上を図りつつ、月島ならではの特性を活かした安心安全で快適な生活環境と多様で魅力的な複合市街地の形成を図ります。



<建物外観完成イメージ>



<地区周辺図>

なお、2017年より住友不動産株式会社、東京建物株式会社、大和ハウス工業株式会社、一般財団法人首都圏不燃建築公社が事業推進に協力して参りましたが、この度正式に参加組合員として本再開発事業に参画致します。

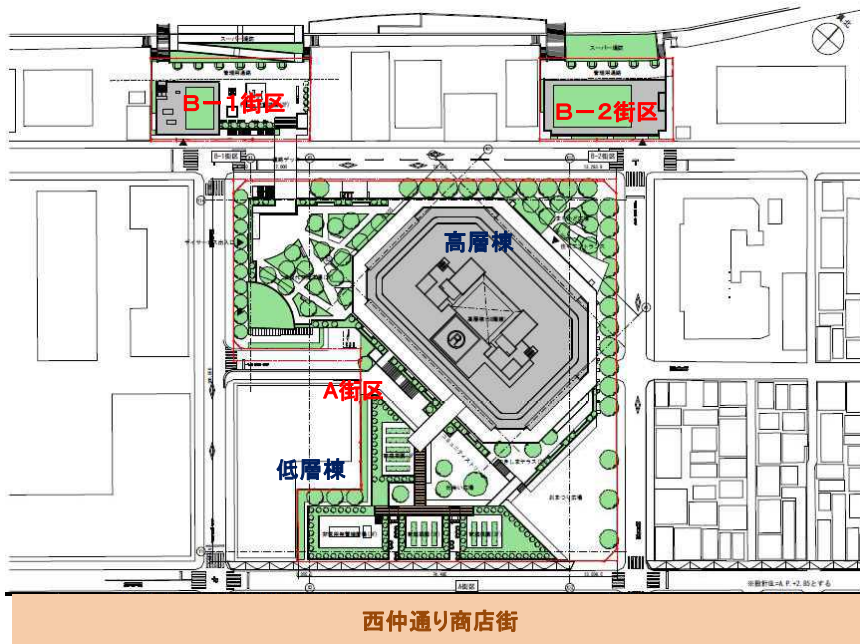
<月島三丁目北地区第一種市街地再開発事業の特徴>

- ・月島地区で最高高さ約199m、最大戸数約1,380戸を誇る新たなランドマークタワーによる新たな人口誘致。
- ・木造住宅密集地の解消、建物共同化かつ高度利用、広場整備などによる地域防災機能の充実。
- ・商店街と隅田川をつなぐ広場や歩行者動線を創出した“月島ならではの趣ある路地空間”など街並み整備。
- ・公益施設の再編による機能（保育所、デイサービス等）の拡充、新設など都市型居住環境の向上。

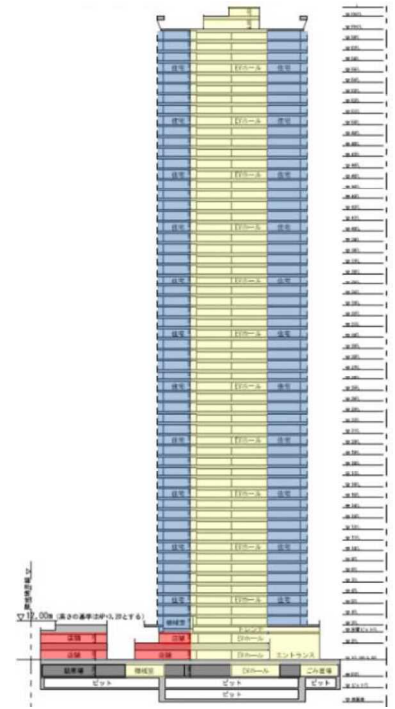
■再開発事業の経緯

2011年3月	再開発準備組合設立
2018年12月	都市計画決定
2020年9月	再開発本組合設立
2022年度	着工予定
2025年度	竣工予定

■建物配置図、断面図



<配置図>



<断面図>

■再開発事業の概要

地区名称	月島三丁目北地区		
地区面積	施行地区約1.5ha		
街区名	A街区	B-1街区	B-2街区
敷地面積	約10,070㎡	約1,050㎡	約880㎡
延床面積	約146,210㎡	約1,540㎡	約2,420㎡
階数	地上58階、地下2階	地上6階	地上7階
高さ	約199m	約23m	約25m
主な用途	住宅、商業、保育所 デイサービス等	障害者 グループホーム等	住宅等
住戸数	約1,317戸	-	約67戸
総事業費	約850億円		